

【小学校第6学年の実践】

1 主題名

困難があってもくじけず努力して物事をやり抜くために【A 希望と勇気、努力と強い意志】

2 教材

「樺太は、島である」間宮海峡発見 間宮 林蔵（北海道版道徳教材（小学校高学年用））

3 主題設定の理由【指導観】

(1) ねらいとする道徳的価値について【価値観】

希望と勇気、努力と強い意志とは、自分の目標をもって、勤勉に、くじけず努力し、自分を向上させることに関する内容項目である。児童が一人の人間として自立し、よりよく生きていくためには、常に自分自身を高めていこうとする意欲をもつことが大切であり、自分の目標をもってその達成に向けて粘り強く努力するとともに、やるべきことはしっかりとやり抜く忍耐力を養うことが求められる。その際、ただ漫然と努力するのではなく、自分に適した目標を設定し、見通しをもってよりよい自己を実現しようとする向上心と結び付いてこそ、前向きな自己の生き方が自覚できるようになる。そのためにも、自分の目標に向かって、勇気をもって困難や失敗を乗り越え、努力して物事をやり抜くことについて考えさせる指導が大切である。

第6学年の指導に当たっては、失敗や困難に直面しながら夢を実現した人に触れ、希望をもつことの大切さや、希望をもつが故に直面する困難を乗り越える人間の強さについて多面的・多角的に考えさせ、自分の目標に向かって、前向きに粘り強く努力して物事をやり抜こうとする態度を育てていきたい。

(2) 児童の実態【児童観】

自分の目標に向かって、前向きに粘り強く努力して物事をやり抜く態度を育てるために、道徳科以外では、次のような指導を行っている。

①体育科「鉄棒検定」

自分の目標に向かって、粘り強く努力して物事をやり抜く態度を育てるために、「鉄棒検定」を行っている。自分が設定した目標を達成するために、自主的に休み時間も練習をする児童もいれば、途中であきらめて努力することをやめてしまう児童もいた。今後は、様々な場面で、目標を設定する際や取り組み方を工夫する際は、全ての児童が粘り強く努力して物事をやり抜くことの大切さについて、考えを深められるよう、指導する必要がある。

②特別活動「運動会に向けて集団でつくり上げる取組」

仲間を信頼し協力することや困難なことに対しても前向きに粘り強く努力しようとする態度を育てるために、組体操に取り組んでいる。様々な技に挑戦する中で、簡単には完成しない技も多い。その度に、「次はどうすれば成功するのか」を考えさせ、練習に取り組ませることができた。また、個人ではなく仲間と協力しなければできない技もあり、自分だけでなく仲間と励まし合いながら、練習に取り組んだ。運動会で練習してきた技を披露することで、技が完成する、しないに関わらず、粘り強く努力して物事をやり抜くことの大切さを感じることもできた。

これらの取組を通して、目標に向けて努力を重ね、物事をやり抜くことの大切さを感じている姿が見られるようになってきた。

一方で、失敗を恐れて消極的になり、達成に向けて粘り強く取り組むことに課題のある児童の姿が見られることから、本時の学習では、間宮林蔵の樺太探検における功績にふれ、道徳的価値を自分との関わりで考えさせながら、目標を達成することの素晴らしさに気付かせ、努力を続けようとする心情を育てたい。

(3) 教材について【教材観】

希望をもつことの大切さや、希望をもつが故に直面する困難を乗り越える人間の強さについて多面的・多角的に考えさせるために、樺太が島であることを突き止めた林蔵の気持ちを中心に話し合う。

本時においては、中心的な発問とそれを効果的にするための基本発問を次のとおり設定する。

1 「◎中心的な発問」の場面

→林蔵が「樺太は島である」ことを突き止めた場面

◆意 図：林蔵が樺太の調査において、凍傷や食糧不足に苦しみながらも、あきらめずに探検を続けたことを踏まえ、ついに樺太が島であることを突き止めた時の心情について、自分だったらどのような気持ちになるかを考えさせるなど、自分との関わりで考えることを通して林蔵の立場に共感させ、価値理解や他者理解を深めさせたい。

林蔵の思い：本当に島だったんだ。自分の思いは正しかったのだ。

努力したかいがあった、やってよかった。

つらいときがあったけど、あきらめなくて本当によかった。

伝十郎の分もがんばることができた。

ついにやりきった。次の探検先を考えよう。

2 「○基本発問」の場面

→林蔵が苦しい環境で調査を続ける場面

◆意 図：単身で樺太に渡った林蔵の思いについて、自分に置き換えて考えさせ、意見を交流させることを通じて、困難に直面した時の感じ方や考え方が様々であることに気付かせるとともに、人間理解を深めさせたい。

予想される考え：つらいから、あきらめようかな。帰りたい。

日本のためにやり遂げよう。最後までやるぞ。

島であることをつきとめたい。

→林蔵が単身で樺太に渡り、調査を続ける場面

◆意 図：幾多の困難に遭遇したときの林蔵の気持ちに共感させることを通じて、失敗や困難を乗り越えた時の感じ方や考え方について話し合い、困難があってもくじけずに努力を続け、物事をやり抜くことについての価値理解を深められるようにしたい。

林蔵の思い：ここであきらめたら、前回と同じだ。

必ずやり遂げよう。

絶対あきらめない。

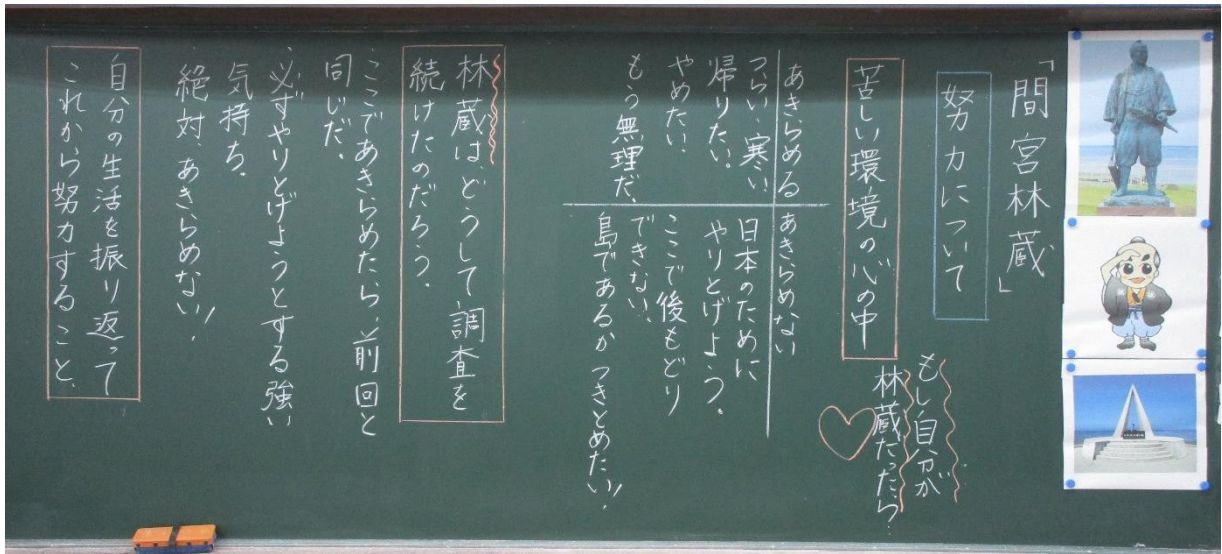
4 ねらい

間宮林蔵の生き方に触れることを通して、自分で立てた目標に対して、希望と勇気をもってくじけないで努力して、目標を達成する取組をやり抜こうとする態度を育てる。

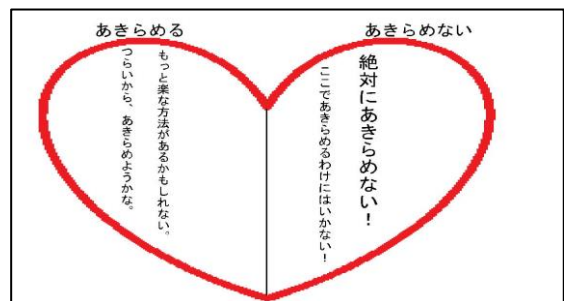
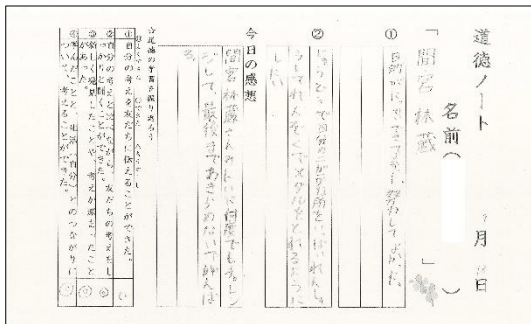
5 学習指導過程

	●学習活動 ○主な発問 ◎中心的な発問 ・子どもの反応	・指導上の留意点 ■評価	「考え、議論する道徳」 に向けた工夫
導入	● 今、努力していること、これまで努力していたことを話し合う。 ○ 今、努力していること、これまで努力していたことはありますか。 ・自主学習を毎日続けようと努力している。 ・毎日マラソン練習をしようと思ったけど、途中であきらめてしまった。	・ねらいとする道徳的価値への方向付けをする。	【工夫①】 ・道徳的価値への方向付けをする中で、何かをなしとげようと努力しても、できないことがあるという人間理解を図る。
展開	● 教材『樺太は、島である』間宮海峡発見を読み、話し合う。 ○ 苦しい環境で調査を続ける林蔵は、どのような思いだったのでしょうか。 ・つらいから、あきらめようかな。 ・帰りたい。 ・日本のためにやりとげよう。 ・最後までやりとげるぞ。 ・島であることをつきとめたい。 ○ 凍傷や食糧不足の苦しい環境の中で林蔵はどうして調査を続けたのでしょうか。 ・ここであきらめたら、前回と同じだと思ったから。 ・必ずやり遂げようという強い気持ちがあったから。 ・絶対あきらめないと思ったから。 ◎ 「樺太は島である」ことをつきとめた林蔵の気持ちを考えよう。 ・樺太は島だったんだ。 ・努力したかいがあった。 ・あきらめなくて本当によかった。	・間宮林蔵像や樺太の地図などを示しながら教材を読む。 ・単身で樺太に渡った林蔵に共感させることを通じて、困難に直面したときの感じ方や考え方を話し合い、人間理解を深めさせる。 ・厳しい環境の中で目標達成に向けて努力を続ける林蔵に自我関与させることを通じて、林蔵の立場に共感させ、価値理解や他者理解を深めさせる。	【工夫②】 ・もし自分が林蔵の立場だったらと考え、ハート型のワークシートを使って、心の中を可視化する。「7 ノート・ワークシート」参照 【工夫③】 ・個人思考→ペアで交流→グループ交流→発表の流れで行い、多面的・多角的に考えを深められるようにする。
	● 自己を見つめる。 ○ 今までの生活の中で、努力することの大切さを感じたことはありますか。 ・学芸会の器楽練習をがんばり、観客の皆さんに喜んでもらったこと。 ・少年団の練習をがんばり、試合で活躍できたこと。 ・家庭学習をがんばり、できなかった問題が解けたこと。	・自分の生活や生き方を振り返り、自己理解につなげる。 ■ より高い目標を立て努力する大切さについて、自分との関わりで考えを深めることができたか。	【工夫④】 ・自分との関わりでじっくり考えさせるために、ワークシートに書く活動や交流する活動の十分に確保し、自己理解を促す。 【工夫⑤】
終末	● 今日の授業で気付いたこと、考えたことをワークシートに記入し、交流する。 ● 教師による説話を聞く。 ※教師がこれまでの経験から、努力して物事をやり抜くことの大切さについて話をする。	・目標に向けて努力しようとする実践意欲が育まれるようにする。	・授業の振り返りを全体で交流することにより、児童が多様な感じ方や考え方に気付くことができるようにする。

6 板書



7 ノート・ワークシート



【授業実践を振り返って】

より高い目標を立て、希望と勇気を持ち、困難があってもくじけずに努力して物事をやり抜くことについて自分との関わりで多角的に考えることができるよう、中心的な発問を吟味するとともに、ワークシートを工夫し、困難に立ち向かう林蔵の気持ちを視覚的にとらえられるようにしました。本時の授業では、「寒くてつらいけど、前に進もう。(勇気)」、「最後まであきらめるわけにはいかない。(強い意志)」などの発言が見られ、「希望と勇気」「努力と強い意志」に関連する内容項目を自分との関わりで多面的・多角的に考えながら困難があってもくじけずに努力して物事をやり抜くことについて考えを深めることができました。

また、授業の振り返りを発表したり、教師が児童の振り返りを紹介したりすることで、この時間で考えたことを共有することができました。